

「ヒト」と「ブンカ」をつなぐ 情報誌

HACF news

HAMAMATSU
CULTURAL FOUNDATION

Vol. **32**
2019 spring

特集1

エネルギーの源は音楽と家族への愛
長男ヴォフカとのピアノ・デュオ

ピアニスト

ウラディーミル・アシュケナージ

インタビュー

特集2

音色の玉手箱
チェロの魅力を伝えたい

チェリスト

長谷川陽子 インタビュー



公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

VOL.32 | 2019 spring

contents

- 04  [特集1]
ピアニスト
ウラディーミル・アシュケネージ インタビュー
- 08  [特集2]
チェリスト
長谷川陽子 インタビュー
- 12  [のんびり、ゆっくり、みゅーじあむvol.21 ~楽器博物館~]
もうひとつのショパンコンクール
「第1回ショパン国際ピアノ独奏楽器コンクール」
- 14  [こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ。]
柚露
PHOHANOI second
- 16  [ちょっと気楽に、もっと音楽を]
ドルチェ倉庫
- 20  [コンサートにお出掛け、その前に...]
ヤマハミュージックリテイリング浜松店
- 21  [INTRODUCTION NOTES ~音楽へのいざない~]
Vol.3 歌い継がれる愛唱歌“国歌”
- 22  [各館つれづれ便り]
浜松市浜北文化センター／クリエート浜松
アクトシティ浜松／浜松市天竜壬生ホール
- 24  オークラアクトシティホテル浜松
ホテルクラウンパレス浜松
- 26  HCF Event Schedule
- 31  [お知らせ]
コンサートスケジュール 2019-2020

はじまりはいつも、 ヒトツの感動から。

音楽を演奏する場所は、ホール以外にも多くある。

近年、ユニークベニューと言われる様々な場所で演奏会が行われている。

神社仏閣、廃校となった小学校や美術館、図書館、あるいは歴史の深い産業遺産や、古い町のシンボリックな場所など、多岐にわたる。

本来、静寂を求められる場所で“音を奏でる”ということの意味を考えたり、伝統ある建物を西洋文化の音色で染めてみたり、その場所で行われていた過去の風景を思い浮かべながら音楽を楽しんだり。

ユニークベニューは、「場」としての意味があり、ホールでは味わうことのできない特別な魅力を加えることができる。場所が変われば、いつもの音楽が違う色の縁取りで彩られたように聴こえてくる。

私たち浜松市文化振興財団は、これからも新たな文化芸術の楽しみ方を提供してまいります。
すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙



静岡文化芸術大学
デザイン学部デザイン学科2年
鈴木 友香(すずきともか)

作品名「イチリンザシ」

バーナーの火でガラス棒をさわっていたら不思議な形ができました。それを迎っていくうちに「イチリンザシ」という生き物が生まれました。彼らは花を探します。彼らはその時一番の、お気に入りの挿して歩きます。歩いているのはまたいつか、もっと一番の花のため。新しいものを見つけることの楽しさを彼らは伝えてくれています。



ピアニスト

ウラディーミル・アシュケナージ

インタビュー

©Keith Saunders

アクト・プレミアム・シリーズ2019の最初を飾るのは、ピアニスト・指揮者として輝かしいキャリアを誇るアーティスト、ウラディーミル・アシュケナージさん。指揮者としては何度も来日されるなか、今回はピアニストとして長男でピアニストのヴォフカさんと共演します。若いピアニストについて、デュオツアーの見どころなどについて語っていただきました。

協力／株式会社AMATI

||||| ピアニスト ウラディーミル・アシュケナージインタビュー |||||



■初来日されてから50年以上がたちますが、日本のオーケストラや音楽家、聴衆に対してどのような印象をお持ちですか？日本に対する印象は昔と今で違ってきていますか？

日本のオーケストラ、音楽家の規律正しさにはいつも感銘を覚えます。もちろん技術的にも世界トップクラスで、彼らと一緒に音楽ができることをとても幸せに思います。また、日本の聴衆は世界一だと思います。音楽への造詣も深く、演奏を聴くときの集中力は尊敬に値します。世界のどこにも日本ほどの静寂と緊張感のあるコンサートホールはないと思います。昔と今？私は初来日のときから日本が本当に大好きです。その気持ちは来日の度に強くなっていると思います。

■様々なポストを歴任され、演奏活動も精力的に行われていますが、エネルギーの源は何でしょうか？

音楽と家族が私にとって最も大切なものです。あえて言うなら音楽や家族への愛がエネルギーの源でしょうか。

■今回は、長男ヴォフカさんとの親子共演ですね。見どころを教えてください。

息子ヴォフカとのデュオを私はとても楽しんでいきます。私たち二人の音楽感はとても似通っているの



で合わせることに努力は必要ありません。音楽を深めることに純粋に集中できるのです。私の妻もピアニストであり、子供たちのまわりには常に音楽、ピアノの音がありました。私が毎日練習するのを聴いて育ったのです。私たち家族が音楽によって精神的にひとつに結び付いているのです。

■現在、注目している若手ピアニストや指揮者はいますか？

数カ月前にアイスランド交響楽団との演奏を聴いてくださった方も多いでしょうが、Nobu（辻井伸行）は本当にいいピアニストだと思います。性格もいいし、あれだけ純粋に音楽と向き合っている若者は最近では珍しいのではないのでしょうか。彼とは日本だけでなく、ヨーロッパやオーストラリア等でも何度も共演しています。

■コンクールの審査委員も多く務められて、ご自身も若くして名だたるコンクールに入賞されています。若いピアニストが世界的に活躍するためにはどんな資質が必要でしょうか？

若い音楽家は音楽のことを考えるべきで、キャリアのことを考えてはいけないと思っています。そして難しいパッセージを完璧に演奏することよりも、一流の作曲家の素晴らしい音楽を聴き手に届けること、それが最も重要なことです。

■幅広いレパートリーの中で、長く取り組んでいるものはありますか？そしていま現在、心惹かれるものはなんですか？

どれかひとつをあげることはできませんが、ラフマニノフのピアノ作品は全てを演奏、録音もしました。今回も2台ピアノのための「組曲第1番」を取り上げますが、どの作品にもピアニストでもあった彼の

特性が活かされていますし、楽器の鳴り方も素晴らしいです。今回のデュオツアーでは、ラフマニノフに加えてシューベルト、ブラームス、ラヴェルの作品を演奏します。異なる時代、異なる精神的背景を持つ作品を弾いて、それぞれの作曲家が聴衆に伝えようとしたことを探り、それぞれの作品と一体化することができるのは何よりも魅力的なことです。そして、天才たちの努力の結晶である作品を演奏できるのをとても名誉なことだと思っています。

■2018年11月にはアイスランド交響楽団とアクトシティ浜松にいらっしゃるなど、指揮者としてもご活躍です。指揮者としてオーケストラを率いることは、ピアニストとしてオーケストラと向き合うことと、意識的に違うことはありますか？

音楽への向き合い方はどちらも同じです。ただし、指揮の場合はオーケストラの皆さんが助けてくれますが、ピアノの場合は誰も助けてくれません。それが大きな違いですね。

Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2019
～世界の名演奏家たち～Vol.11
ウラディーミル・アシュケナージ〈ピアノ・デュオ〉

2019年5月13日(月) 19:00開演 **チケット絶賛販売中!**
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席指定: S席10,000円 A席8,000円
B席6,000円 学生B席3,000円(24歳以下)
※末就学児の入場はご遠慮ください。
●出演:ウラディーミル・アシュケナージ(ピアノ)
ヴォフカ・アシュケナージ(ピアノ)
●曲目:
シューベルト/幻想曲 へ短調 D.940
ブラームス/ワルツ集 Op.39
ラヴェル/ラ・ヴァルス
ラフマニノフ/組曲 第1番「幻想的絵画」Op.5
※曲目は都合により変更となる場合がございます。
●文化事業課:053-451-1114

■日本食や日本特有の習慣でお気に入りはありませんか？

お寿司はもちろん日本食はなんでも好きですし、コーヒーより緑茶をよく飲みます。それから相撲が大好きです。

■最後に、浜松でのコンサートを楽しみにしているお客様へメッセージをお願いします。

2台ピアノのための作品はあまり多くはありませんが、その中から私が感銘を受け、皆さんにも楽しんでいただける曲を選びました。アクトシティで皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしています。



ウラディーミル・アシュケナージ
Vladimir Ashkenazy

1955年シヨパン・コンクールにて世界にその名を知らしめて以来、ピアニストとして傑出したキャリアを誇るだけでなく、アーティストとして多彩な活動を積極的に展開し、世界の音楽愛好家に感動を与え続けている。

クリーヴランド管弦楽団首席指揮者、ベルリン・ドイツ交響楽団首席指揮者・音楽監督、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、NHK交響楽団の音楽監督、シドニー交響楽団の首席指揮者・音楽アドバイザーを歴任。ピアニストとしてのアシュケナージは、舞台を主にレコーディング・スタジオに移して、1999年グラミー賞を受賞したショスタコヴィッチ「プレリユードとフーガ」や、バッハ「平均律クラヴィア曲集」、ラフマニノフのピアノ作品集、ヴォフカ・アシュケナージとのデュオ作品集など、多彩で広範囲にわたる作品の録音に、献身的に取り組んでいる。

©Keith Saunders

25th
ACT CITY
HAMAMATSU

HAMAMATSU
ACT CITY

Premium
Series

～アクトシティ浜松は2019年に開館25周年を迎えます～

世界の一流アーティストが奏でる至高のコンサート・シリーズ

アクト・プレミアム・シリーズ 2019 ～世界の名演奏家たち～

5.13(月) ウラディーミル・アシュケナージ[ピアノ・デュオ]
以降のラインナップはこちら

アクトシティ浜松 中ホール 19:00(18:30開場)

vol.12 **ミハイル・プレトニョフ** [ピアノ]

6.24(月)

国際的な脚光を浴び、世界中の聴衆を魅了している現代最高のピアニスト!

Program
モーツァルト:ピアノ・ソナタ 第4番 変ホ長調 K.282
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110
モーツァルト:ピアノ・ソナタ 第10番 ハ長調 K.330
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第32番 ハ短調 Op.111 ほか

©Rainer Maillard / DG

好評販売中!

全席指定 S¥9,000 A¥7,000 B¥5,000 学生B¥2,500

vol.14 **シプリアン・カツアリス** [ピアノ]

12.9(月)

超絶技巧と色彩豊かな音楽性を併せ持つ世界的ピアニストのカツアリスが、2020年に生誕250周年を迎えるベートーヴェンをお祝いする珠玉のプログラム!

Program
ベートーヴェン:7つのパガテル Op.33
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 Op.31-2「テンペスト」
ベートーヴェン(リスト編曲):交響曲 第7番 イ長調 Op.92より 第2楽章 ほか

全席指定 S¥6,000 A¥4,500 B¥3,000 学生B¥1,500
【一般発売】8.11(日) 【友の会発売】8.4(日)

vol.13 **エマニュエル・パコ** [フルート] & **エリック・ル・サージュ** [ピアノ]

9.30(月)

ベルリン・フィルの首席を務めるフルート界のスーパーバスター、エマニュエル・パコと世界的室内楽の名手、エリック・ル・サージュによる豪華なデュオリサイタル!

Program
ベートーヴェン:セレナード 二長調 Op.41 ほか

©Denis Felix ©Jean-Baptiste Millot

全席指定 S¥6,500 A¥5,000 B¥3,500 学生B¥1,500
【一般発売】5.19(日) 【友の会発売】5.12(日)

vol.15 **ネマニャ・ラドウロヴィチ** [ヴァイオリン] presents **ドゥーブル・サンス** [弦楽合奏+ピアノ]

2020 3.4(水)

“パガニーニの再来”とも称される熱き魂を奏でるヴィルトオーゾ、ネマニャ・ラドウロヴィチ率いる変幻自在のパフォーマンス集団!

Program
リムスキー=ニコル:スコフ(セドラー編曲):「シェヘラザード」Op.35 ほか

全席指定 S¥6,000 A¥4,500 B¥3,000 学生B¥1,500
【一般発売】11.10(日) 【友の会発売】11.3(日)

プレミア・パスポート(全5公演通し券)

S¥32,500(定価合計¥37,500)

完売御礼

※全5公演にご入場いただける割安でお得なセット券です。
※全公演を通して、同じ席にお座りいただけます。
※プレミア・パスポートは予定枚数がなくなり次第、販売終了となります。

特別協賛/ **オリックスグループ**

長谷川陽子

チェリスト

Yoko Hasegawa

インタビュー



1月15日(株)ジャパンアーツにて 文・撮影／(公財)浜松市文化振興財団

4月18日、アクト・ワンコインコンサートに登場するのは、チェリストの長谷川陽子さん。昨年11月に開催された第10回浜松国際ピアノコンクールの第3次予選室内楽奏者としてご協力いただいた感想から、コンサートの聴きどころや愛してやまないペットのことなど、お話を伺いました。

■11月には浜松国際ピアノコンクールでの室内楽ご共演、ありがとうございました。

こちらこそ。中ホールの響きがとても素晴らしかったです。また、浜松の駅に降りた瞬間、構内にピアノが展示されていたり、お土産品にも音楽をモチーフにしているものがあったり、ホールだけで

なく街が一つになって盛り上げていると感じました。共演した出場者の方々も、全員が本選に行けそうなほどレベルが高いと思いました。ただ、1位になったトルコのチャクムルさん。あの方はちょっと違う星からやってきたみたいなのところがあって、天真爛漫で素晴らしかったですね。

■演奏者の個性は、音を合わせた瞬間に分かるものですか？

ワンフレーズ弾いただけでも、だいたい分かりますね。どの人も大きな欠点というのは無いのですが、何が起こるか分からないワクワク感や、普通では起こりえないフレージング、ニュアンスなどは天から降ってくるものです。当人の努力はもちろんですが、それ以上のものを持っている人はキラッと光っています。言葉や演奏で示してくれるアイデアもそうですし、何よりこれから世に出ていく勢いがある。そういう才能に触れられたことに感謝しています。

■チェロを始めたきっかけを教えてください。

両親がクラシック好きで、父はアマチュアでヴァイオリン、母はピアノを弾いていて、音楽が日常的にある家庭で育ちました。一番身近なのが父と母だったので、こう言うといろんな方に怒られるんですが、ピアノとヴァイオリンって、大変な音しかしなと思っていて(笑)。そんな頃、チェロの巨匠カザルスが亡くなって、食事の時などに父がカザルスのレコードを聴かせてくれた時、チェロってすごく良い音がするなと思って、やりたいと言出したのがきっかけです。両親としてはまずピアノをやらせたいと5歳くらいからピアノを習いながらも、心のどこかにチェロという楽器がずっとあって、やっと9歳の時に買ってもらえました。

実は私、指や手がすごく大きくて、鍵盤のドからファまで届いちゃうんです。この指でヴァイオリンを



弾くとすぐ窮屈だけど、チェロだとそれがちょうどいい。性格的にも、体格的にもチェロに向いてたのだと思います。

■チェロは人の声に近い楽器とも言われますが、一番の魅力はどんなところだと思いますか？

何と言っても、音域がものすごく広いことですね。フラジオレット(※)まで入れるとヴァイオリンに匹敵するくらい高い音から低い音まで出せます。たとえば華やかにソリストティックに歌う事もできれば、おじいさんが^{とつとつ}訥々と自分の人生を語るかの様な低くて深い音色、青年の艶やかな歌声や、赤ちゃんに聞かせるようなささやき声など、いろいろな^{おんしよく}音色を出すことができるんです。そういう意味で音色の「玉手箱」みたいな感じです。

※フラジオレット：弦楽器の特殊奏法で出る柔らかく高い音のこと。

■今回のコンサートの聴きどころは？

私が考えるチェロの魅力全部ギュッと詰めこんだ濃縮版というか、いろんな面から見ていただける曲を披露できたらと思って選びました。特に、吉松隆さんの曲はデビュー30周年記念に書いていただいた曲です。カッチーニのアヴェ・マリアとアメイジング・グレイスという3曲連作の中の2曲を弾きますが、聴きなじみのあるメロディーの中にある懐かしさと新鮮さが共存する吉松さんならではのハーモニーを感じていただきたいです。

■演奏していただくアクトシティ中ホールの印象はいかがでしょう？

とにかく美しい！それに、弾いた音が空気を通して天からシャワーのように戻ってくる感じがして、本当に素晴らしいホールだと思いました。チェロは、エンドピンを直にホールの床に刺して演奏するので、





どの場所に刺すかによって床から音が響いてホール全体が鳴るかどうかが大きく影響します。いつもは、ゲネプロの時にその場所を探すのですが、コンクールの時は時間がありませんでした。今回は、一番のスイートスポットを探せるので、もっと素晴らしい音に出会えるんじゃないかなと今からとても楽しみにしています。

■後進の指導もされていますが、若い演奏家にとって一番大切なのはどんなことでしょうか？

若い時は小難しい事はあまり考えず、とにかく全てのチャンスをつかむつもりでやっていけばいいと思います。でも、これが30～40代になって同じ曲を弾くようになった時が一番難しい。どれだけ興味を失わずにその曲に向き合えるか。弾くことに対して常に新鮮さ、ときめきを失わないこと。年齢を重ねても、自分の楽器や音楽にワクワク、ドキドキして恋していられるかどうか、愛情をもち続けられるかは、20代にどれだけ色々な事を吸収して、広い視野で曲や楽器に向き合って過ごしたかが関わってくると思います。

■今はネット環境が充実して、世界中のありとあらゆる音楽が瞬時に手に入ったり動画などで簡単に見られる時代ですが、どのようにお考えになりますか？

実際、便利だし参考にすることもあります。ただ、

現代の動画配信サイトには、素晴らしいものもアップされていると同時に、そうでないものもたくさんある。色々なものがありすぎて良いものに触れる時間が減ってしまうのがもったいないですね。しかも、一定以上のレベルの作品が揃うCDショップと違って、それこそ幼児が演奏する映像なんかも出てきてしまう。耳というのは良いものを常に聴いて育てていくことが大事。若い演奏家たちにも言っていますが、自分の下手な演奏を聴くのではなく、常に素晴らしい演奏を耳にインプットして、自分との違いを判断できる耳をもってほしいと思うのです。それに、動画を見ている環境では、隣で犬が鳴く声や台所でお湯が沸く音、トラックが道を走る音なんか聞こえて気持ちが寸断されてしまいます。1曲目から最後の曲まで気持ちが高調していくひとつの特別な盛り上がりは、実際にコンサート会場に足を運んでこそ感じるものですよね。

■音楽以外の趣味や凝っていることは？

猫ちゃん2匹と住んでもう数年になります。この子たちのためなら何でも頑張れる！ってくらい愛しています。猫は欲求が本当にシンプルなので、あの清らかさに触れていられるだけでリフレッシュになりますね。しかも、そのうちスバルという猫は、音楽が分かるんです。私が譜読み段階であまり上手じゃない時には、練習室から一番遠いところで寝ているのに、少しずつ弾けるようになってくるとだんだん練習室の扉に近づいてきて。それで、いよいよ明日日本番って思いながら扉をガチャッと開けると、扉のすぐ目の前で聴いているんですよ！私の生徒さんたちも自宅でレッスンするのですが、扉を開けた時スバル先生がそこにいらっしゃるかどうかが戦々恐々としています（笑）。もう一匹のレオンくんは、音楽より食欲ですね。あとは、最近購入した新しい

自転車で、楽器がない時はどこにでも走っていきます。弾く筋肉は使っていますが、そうでない筋肉もあるので体力維持のために、と思ってやっています。この前は浅草まで2時間くらい走りました！

■ご自身の人生に影響を与えた方を教えてください。

第一に、9歳から18歳までチェロの手ほどきを受けた井上頼豊先生。最初は楽器の持ち方から演奏技術まで教わりましたが、演奏家への敬意のはらひ方や演奏会へ向けてどのように準備を重ねていくべきかなど、演奏家としてご自身が実践している姿を間近で見ることができました。弾くこと以外の精神性を井上先生から学べたことが今となっては一番大きかったです。それから、演奏家としても人間としても憧れるのは、やはりヨーヨー・マです。演奏も世界最高だと思いますが、人種を越えて平和の架け橋になれる、人間としてのキャパシティの広さを感じて尊敬できますね。学生時代には何度かマスタークラスを受講しましたし、その後も何回かお会いすることができました。

■最近の音楽界で、魅力的だと思う方や共演してみたい方は？

年上の方は、幸い共演する機会に恵まれてきたので、若い人達とも共演していきたいです。例えば、ヴァイオリンの木嶋真優さん。エネルギーが魅力的だと思います。若手チェリストは最近層が厚くて、魅力的な方がたくさんいます。宮田大さんや、遠藤真理さんも素晴らしいと思うし、岡本侑也さんはあの年齢とは思えない落ち着きがありますね。非常に理知的な演奏なので、これからが楽しみです。

■これからの目標や夢について教えてください。

ひとつひとつのことに全身全霊で向き合っていく

ために、体調を整え、精神状態もコンサートをピークに持っていくことを続けていきたいです。それを積み重ねていくことで、その先に具体的な目標が見えてくると思っています。2022年のデビュー 35周年の時には、チェリストとして、またチェロ音楽には欠くことのできないロシアの作曲家作品を集めたコンサートをしたと思っています。

■最後に、お客様へメッセージをお願いします。

昨年訪れた浜松は、大好きな街になりました。皆さんにお目にかかることを今から楽しみにしています。前回は訪れることができなかった浜松市楽器博物館にも、今回はぜひ行ってみたいですね。当日は、たくさんのチェロの魅力、こんなこともできるの？というところをお見せしたいと思いますので、ぜひ足をお運びください。



撮影：塩澤秀樹

長谷川陽子

色彩豊かな音色と音楽性を持ち合わせた、日本を代表するチェロ奏者の一人。2017年、デビュー 30周年を迎えた。これまで国内外の主要オーケストラとの共演多数。全国各地でのリサイタル、室内楽、企画コンサートへ出演。メディアにも多数出演しており、NHK Eテレ「ららら♪クラシック」では、MC 高橋克典氏のチェロの先生やゲスト等で定期的に出演中。ロストロポーヴィチ国際コンクール特別賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞等、受賞多数。現在、桐朋学園大学音楽学部准教授。

ホームページ <http://yoko-hasegawa.com/>



アクト・ワンコインコンサート2019
長谷川陽子〈チェロ〉

2019年4月18日(木) 11:30
●アクトシティ浜松 中ホール
●全席自由：500円
(当日会場でお支払いください)
※未就学児の入場不可
●文化事業課：053-451-1114



楽器博物館

のんびり
ゆつくり
みゅーじあむ

vol.21

もうひとつのショパンコンクール 「第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール」

楽器博物館 館長 嶋 和彦

昨年11月、第10回浜松国際ピアノコンクールが盛会裏に終了しました。前回の第9回が恩田陸さんの小説「蜜蜂と遠雷」のモデルとなったこともあって、これまでに多く多くの聴衆が集まりました。演奏のレベルも大変高く、各方面で話題になりました。先日1月14日には、NHKテレビBSプレミアムでコンクールを密着取材したドキュメンタリー番組「蜜蜂と遠雷-若きピアニストたちの18日」も放映され、初回から27年を経た浜松のコンクールもようやく全国にその存在が知れ渡ることとなりました。

世界には数多くの国際ピアノコンクールがありますが、3大ピアノコンクールと言われるのが、ロシアのチャイコフスキー国際コンクール、ベルギーのエリザベート王妃国際音楽コンクール、そしてポーランドのショパン国際ピアノコンクール。中でもショパンコンクールは、楽曲の素晴らしさに加えて、ショパンの人生が人々の共感呼び、ピアノコンクールとしては最も人気があると言っても過言ではないでしょう。第一次世界大戦後ポーランドが独立して9年後の1927年に始まったこのコンクールは、国民的英雄ショパンに対する敬愛のもと、ポーランド国家が誇りをもって開催しています。第2次世界大戦中の中断を除き5年毎に開催、次回は2020年です。

このショパンコンクールに、昨年新しいコン

クールが創設され、第1回コンクールが開催されました。現代の巨大なフルコンサートグランドピアノを使

うのではなく、ショパンの生きていた時代のピアノ（これをフォルテピアノとかピリオド楽器とかヒストリカルピアノなどと呼びます）を使い、最終審査のコンチェルトは、かの有名な18世紀オーケストラが担当するという「ショパン国際ピリオド楽器コンクール」です。主催は従来のショパンコンクールと同じく国立ショパン研究所で、今後5年毎に開催です。

この新しいショパンコンクールがなぜ開催されたのか？それは、この数十年間の、ピリオド楽器のすばらしさと歴史的価値を研究し演奏し、世の中に広めてきた多くのピアニストの地道な努力が、ようやくヨーロッパの音楽界で市民権を得たから、ということでしょう。ひたすら巨大化、強大化してきたピアノこそ唯一最高のピアノだ、という価値観からの転換、というか、過去の事実への開眼と言ってもいいでしょう。

ショパンの生きていた時代に、今のような巨大



プレイエルピアノ 1830年 パリ

なピアノは存在していません。これは事実です。ショパンは当時のピアノで作曲し演奏していました。楽器が違うのですから、演奏した時の曲の響きは、今のモダンピアノとは全く違いましたし、当然演奏方法も違いました。ピアノ曲をワインに例えるなら、楽器は原料の葡萄です。葡萄によってワインの味わい、香りが異なることは明白です。音楽もそうなのです。楽器が変われば音楽そのものも変わってくるのです。

このことは何もピアノに限ったことではなく、フルートでも、オーボエでも、ヴァイオリンでもなんでもそうです。これらの楽器はもう50年も前に、その曲の時代の楽器を使って演奏することを始めました。しかしピアノの世界は、大勢としてなかなかそれを実行しませんでした。これには様々な理由がありますが、また別の機会に触れることといたしましょう。

さて、話をコンクールに戻しましょう。結果は1～3位全てをポーランドのピアニストが独占したのですが、唯一外国人で2位となったのが、日本の川口成彦さんでした。東京芸大に学び、楽器博物館の多くのフォルテピアノコンサートやCDアルバムで演奏されているピアニスト小倉貴久さんにフォルテピアノを師事されました。現在はアムステルダムで勉強されています。当館でも2015年にクリストフォリのピアノを演奏していただきました。その川口さんを招いて4月5日(金)にオールショパンプログラムのレクチャーコンサートを行います。使うピアノは博物館所属の1830年プレイエル社のピアノ。プレイエルとはパリでのショパンを援助したピアノ製作者。ショパンは生涯



川口成彦 ©Yat Ho Tsang

このプレイエル社のピアノを愛用しました。

最後に楽器博物館は開館以来、世間が騒ぐ以前から、フォルテピアノのコンサートやCDのリリースを数多く行い、その素晴らしさを紹介し続けてきました。フォルテピアノで聴くショパン、リスト、シューベルト、ベートーヴェン、シューマン、ハイドン…それは素晴らしいものです。楽器博物館コレクションシリーズCDでも是非お楽しみください。

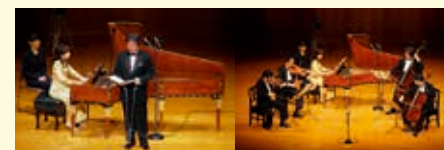


楽器博物館 CD No35
ショパンピアノ協奏曲第2番 室内楽版
朝日新聞推薦



楽器博物館 CD No38
イギリス・ソナタ
2012年文化庁芸術祭大賞受賞CD

フォルテピアノはソロだけでなく、歌や弦楽器とのアンサンブルで、たとえようもなく調和した美しい響きを生み出してくれます。



上/楽器博物館15周年記念コンサート 2010.12.5 アクトシティ中ホール
下/楽器博物館友の会コンサート 2013.2.16 展示室
フォルテピアノ演奏はすべて小倉貴久

浜松市楽器博物館

【開館時間】 9:30-17:00

【休館日】 毎月第2.4水曜日(祝日の場合は翌日、8月は無休)
12/29-1/3、施設点検等の日

【観覧料】 大人 800円 高校生 400円

中学生以下・70歳以上・障害者無料

TEL.053-451-1128 HP <http://www.gakkihaku.jp>



「八寸(はっすん)」 ※フルコース料理 7,000円～(税抜)の料理の半ば過ぎに提供されます。旬や季節をいただく料理の為、内容は日替わりです。



鶏肉のフォー 800円(税抜)と海老と豚肉のバインセオ 1,100円(税抜)は定番の人気メニュー。

柚露

2011年の6月にオープンした日本料理「柚露(ゆうろ)」。扉を開けるとそこは非日常的な空間。静かにジャズが流れ、間接照明に照らされたシンプルモダンな和の世界が広がります。

お薦めとしてご提供いただいた料理は「八寸」。八寸とは、元々は茶道の懐石において、一辺が8寸(約24センチ)の正方形の杉の盆に山の物と海の物を一種類ずつ盛り付けたもの。季節や旬をいただく料理の集大成と言うとおり、盛り付け・味ともにまさに職人技です。

自家農園の無農薬野菜、地場の新鮮食材で旬の物を、ひと手間かけ、極上な一品としていただけます。器やお皿は江戸から昭和初期の骨董品が揃っており、伝統美が料理をより引き立てます。

お昼のおまかせ懐石(フルコース)は5,000円～、夜のおまかせ懐石(フルコース)は7,000円～ですが、予算に応じてご相談可能。ご友人、ご家族とのひとときや、接待の場としてもぴったりです。記念日や大切な方のお食事に是非訪れてみてはいかがでしょうか。



店主の伊藤潤二郎さん

お客様に提供するまでの料理は、生産者・仲卸人・料理人・接客者が同じ意識やテーマでバトンを渡す「美味しさのリレー」であると話してくれた伊藤さん。食にこだわり、食を通じて関わる人々との関係も大切にされているらしいです。「全国基準の物差しで、浜松の食文化のレベルを上げたい」と情熱的に語る表情が素敵です。



柚露(ゆうろ)

浜松市中区板屋町101-2
TEL.053-456-1003

【営業時間】
12:00～、17:30～
(予約制。当日の予約はお電話にてご相談ください。)

【定休日】不定休

PHOHANOI second (フォーハノイ セカンド)

今年の4月でオープンから4年目を迎える『PHOHANOI second 浜松板屋町店』は浜松駅、第一通り駅からすぐ近くにあります。「Second」とは2番目という意味ではなく、「古き良きベトナムの雰囲気再生する」という意味が込められているそうです。カウンターとテーブル席合わせて30席ほどの店内は明るく落ち着いた雰囲気でお食事やお酒をゆっくり楽しめます。ランチタイムは女性のお客様でにぎわっています。おすすめのメニューはやっぱりフォー。種類豊富に用意されていますが、なかでも鶏肉のフォーが人気だそうです。そのほかには海老と豚肉にバインセオも店長のおすすめです。バインセオとはベトナム風お好み焼きで、米粉入りの皮に野菜がたっぷり入っています。ベトナムのドリンクと言えばハス茶やベトナムコーヒーなどが有名ですが、ベトナムのお米を使った「ルモアイ」という米焼酎が料理にもよく合うのでおすすめです。米焼酎はもち米、黒もち米を使った種類もあるので飲み比べてみてはいかがでしょうか。



店長の太田水望さん

店長になって3年ほどの太田さん。おすすめメニューは「海老と豚肉の焼きフォー」980円(税抜)だそうです。お休みの日は映画観賞や読書をしてゆったりと過ごしているとのこと。店長として、お一人様でも気軽に食べる、お客様が居心地の良いお店作りを目指しています。



PHOHANOI second
(フォーハノイ セカンド)
浜松板屋町店
浜松市中区板屋町104-1D's Tower 1F
TEL.053-455-0011
【営業時間】
月火木金 11:00～15:00
(L.O.14:30)
17:00～23:00
(L.O.22:30)
土日・祝 11:00～23:00
(L.O.22:30)
【定休日】水曜日

ちょっと気楽に もっと音楽を 08

「音楽をもっと気楽に楽しんでほしい、日々の生活に音楽を」というテーマで、近場で気楽に音楽を楽しめる素敵な場所をご紹介します。



取材日／1月11日 文・撮影／(公財)浜松市文化振興財団

この方に
伺いました！

寺田一三さんと栄子さん



ドルチェ倉庫

- 1949年 「丸四織物合名会社」寺田家の長男として磐田市福田に生まれる。
- 1977年 祖父が創業し、50年余り続いた織物業にピリオド。
- 1997年 母が織物工場の倉庫を改修、「ドルチェ倉庫」として創設。
母の急逝後、遺志を継ぐ仲間と共に、倉庫の管理人として維持管理に努める。
- 2013年 倉庫と事務所兼邸宅が国の登録有形文化財として新たに登録された。

織物業の歴史を担った 最後の大規模工場

磐田市の旧福田町は大正から昭和の中頃まで日本一の別珍・コール天(※1)発祥の町として栄えました。大正7年創業の「ドルチェ倉庫」もそんな機屋のひとつです。しかし、「ガチャ万」(※2)に象徴される大繁栄の影には綿糸輸入が止まった大戦時、工場の倒産が相次ぎ、なかには満州開拓団に駆り出されるなど辛い歴史も背負っています。この倉庫でも昭和20年4月19日福田大空襲の日、防空壕直撃で家族従業員7名が亡くなりました。敗戦後、倉庫は「国有綿保管倉庫」に指定され、“ここに保管される国有綿を盗んだ者は刑法ボツダム

勅令により無期懲役”という政府の怖い告知板が掲げられていました(写真左上)。

こんな歴史を持つ丸四織物合名会社倉庫と主屋が2013年、国の登録有形文化財に指定されました。実は2006年まで、福田の象徴であるノコギリ屋根の大きな工場棟と従業員寮も残っていたのです。もし倉庫や主屋と合わせて全て揃っていたら、日本の別珍・コール天のまさに「産業遺産」でした。今は倉庫の中にミニチュアの全景模型があるのみです。

「ドルチェ」な音のする音楽倉庫に

ドルチェ倉庫は、母(故・寺田昭子さん)が創設したものです。父が亡くなった後、音楽が大好きだっ



政府告知板

倉庫入口に掲げられた告知板は、日本政府によって設置された。闇市や盗難が横行していた戦後の混乱期を感じさせる遺物。



かつての丸四織物合名会社全景(ミニチュア)

向かって左側がドルチェ倉庫、右側が寺田家邸宅、正面奥に工場と従業員寄宿舎が見える。



登録有形文化財のプレート

国道150号線から10mほど入ったところにある、ドルチェ倉庫と寺田家邸宅はこのプレートが目印。



ドルチェ倉庫の外観

戦前からの歴史を物語るこの場所には、地元の中学教師たちが大勢で見学に来たことも。「若い世代に何が行われていたかを知ってもらいたい」と資料を手作りして説明したそう。

※1 別珍: 木綿で織ったピロッド。コール天: 織り方は別珍と同じだが、縦うねが特徴。コーデロイともいう。

※2 ガチャ万: ガチャ万景気。織機をガチャンと動かせば一万円儲かるという意味を持つ景気拡大現象。糸へん景気ともいう。

た母が1992年に福田音楽愛好会「アンダンテ」を創設し、初代代表となりました。最初は大きなホールを借りて、演奏家のコンサートを開催していましたが、音楽仲間との練習場所が欲しくなり、廃業してすでに使わなくなっていた自宅の倉庫を改造して1997年「ドルチェ倉庫」を創設したのです。元々の倉庫を生かして、床・壁・天井全てが木造の温かい空間に生まれ変わりました。最初のお披露目コンサートで演奏してくれた元NHK交響楽団のヴァイオリン奏者堀江悟さんが「ここは素晴らしい音がする。優しいドルチェな音がする。」と感想を言ってくれました。そこから「ドルチェ倉庫」と母が名付けたのです。スタートからわずか2年後、母が亡くなりこの倉庫が残されたのですが、このまま閉めてしまうのも…と私たち夫婦が引き継いでいくことになりました。

母の遺志を継いで22年

福田音楽愛好会「アンダンテ」は、母の遺志を継ぐ仲間たちによってこの倉庫を拠点に継続し、年に5、6回ほど演奏家を招いたコンサートを主催するなど積極的に活動してきました。2年前から活動休止となりましたが、毎年冬のクリスマスイベントだけは、創設以来22年間ずっと続いています。現在は、

ピアノやヴァイオリンなどお子さんの発表会を中心に、コーラスやリコーダーのイベント利用などにお貸ししています。もちろんプロのコンサートも。住宅地の一角なのであまり大きな音は出せないのですが、ピアノの発表会には響きも良いですし、人数的にも40～50人くらいがちょうどいいスペースです。演奏会の後、アーティストの方と交流することもあります。そういう出会いも楽しみのひとつですね。他にも、お菓子の販売と合わせて朗読や演奏を楽しむ会など、継続して利用する方もいらっしゃいます。また、開設しているホームページやブログはなるべくまめに更新するようにしています。イベント後に写真を載せると閲覧数がどっと増えるので、見てくださる方がいるんだなあ実感しますね。

もう一度人の集まる場所に

戦前に建てられたこの倉庫を維持管理するのは大変ですが、「一流の音楽を聴いたり、音楽活動したいと願う地元の方たちのための場を、できるだけ安い代価で提供しましょう」という創設者である母の想いを受け継いで続けてきました。福田の綿織物業が盛んだった頃、かつてはたくさんの人で賑わっていたこの倉庫が、操業を停止して静かになって…。それがこんな形でひょっと化けて、人が集まる場所



お菓子の販売と合わせて音楽会やアート展などを開催する「暮らしの菓音」は9年前から続き次回で27回目を数える。主催者の守屋洋子さんは「倉庫の響きの素晴らしいや、生の音楽の楽しさをお客様と共有できるイベントとして継続できたら」と話す。(写真は2017年12月10日)

にもう一度なったんです。ただの木箱だった綿布倉庫がまさかこんな音楽倉庫になるとは、まさに飄筆から駒。しかも響きが良いと言ってもらえるなんてびっくりしました。いつまで続けられるか分かりませんが、利用される方々のいる限り、歴史的遺産でもあるこの倉庫を維持する管理人として淡々と続けていけたらと思います。また、この場所にどんな歴史があるのかを、多くの方に知ってもらいたいですし、これからも伝えていく必要があると思っています。



「アンダンテ」主催のコンサートには、地元をはじめ多くの演奏家たちが出演してきた。第10回浜松国際ピアノコンクール第4位の今田篤さんが出演したことも。(写真は2010年2月14日)



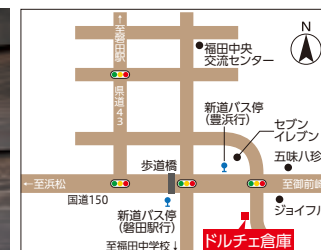
創設者・寺田昭子さんの写真

倉庫の中に飾られ、お客様や音楽愛好会「アンダンテ」の仲間たちを見守っている。



倉庫に隣接する邸宅

母屋は昭和12年築。大正から昭和初めにかけて流行した洋館付き住宅で、玄関から左側が日本家屋、右側が洋館という何とも珍しい造り。寺田さんが松の剪定など、文化財としての景観を維持している。コンサートに来たお客様に「素敵ですね」と言われることが励みになっているそう。



ドルチェ倉庫

〒437-1203
磐田市福田 6085
TEL/FAX.0538(55)2187

[HP]
<http://www4.tokai.or.jp/dolcesouko/>

※個人の私有地となりますので、イベント開催時以外の立入りはご遠慮ください。

コンサートにお出掛け、 その前に…

vol.22

店員さんに聞きました！ おすすめCDのご紹介



ブラームス：
交響曲第1番／ハンガリー
舞曲集／小林研一郎（指揮）、
読売日本交響楽団

OVCL-00545 ¥3,456（税込）



ドヴォルザーク：
交響曲第9番「新世界より」
／小林研一郎（指揮）、チェコ・
フィルハーモニー管弦楽団

OVCL-00419 ¥3,085（税込）

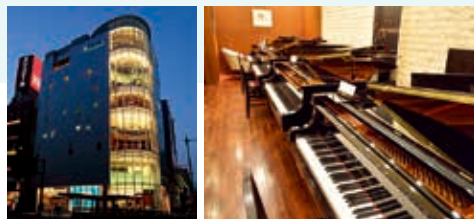
日本を代表する指揮者の一人である小林研一郎さん。東京藝術大学作曲科および指揮科の両科を卒業。「コバケン」の愛称で、音楽ファンから親しまれています。国内外のオーケストラへの客演も多く、常にその活躍が注目されています。「ブラームス：交響曲第1番／ハンガリー舞曲集」では、ハンガリー舞曲より第1番から第6番と第10番が入曲。小林さんと読売日本交響楽団による新シリーズ第一弾として発売されました。録音は、観客を入れずに演奏をするセッションレコーディング。ライブ感ある小林さんの音楽と、演奏、録音共に、セッションレコーディングの良さを活かしたハイ・クオリティなものとなりました。

2019年4月9日は、小林さん79才の誕生日。2010年、70歳の誕生日に発売されたのが、『ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」』です。チェコ・フィルの3日間の定期コンサートで、ブラハの聴衆を熱狂させた記念すべき録音。ライブ録音ならではの、演奏の生々しさが伝わってきます。チェコ・フィルの定期としては異例

の、スタンディング・オベーションだったというこのライブ。小林さん指揮の「新世界」がチェコの観客に受け入れられた瞬間が体感できそうです。過去には、セッションレコーディング盤（OVCL-00337）も発売されていますので、聞き比べも楽しめます。

今年は、日本とハンガリー外交関係開設150周年。ドヴォルザークやブラームスも活躍していた1869年に日本とハンガリーは国交を樹立しました。5月28日には、アクトシティ浜松でも記念コンサートが行われます。炎のマエストロ・コバケンがハンガリーの名門、ハンガリー・ブダペスト交響楽団と臨む名曲プログラムです。小林さんには、2010年「ハンガリー文化大使」の称号が授与されました。ハンガリー・ブダペスト交響楽団では、小林さんが定期的に客演し、現在では名誉指揮者を務めています。生の演奏が楽しめるコンサート、ぜひお出掛けください。

[2F 楽譜・CD売場] 野島 薫



ヤマハミュージックリテイリング 浜松店

10時30分～19時 [定休日] 水曜日
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町321-6
[2F 楽譜・CD売場] TEL.053-454-4419



INTRODUCTION NOTES

～音楽へのいざない～

Vol.3 歌い継がれる愛唱歌“国歌”

30年続いた「平成」の時代が幕を閉じることになり、「平成最後」というフレーズがちょっとした流行語になっています。新天皇の即位にあわせ、今年5月には10連休があるのだとか。そんな中、9月にはラグビーワールドカップ2019日本大会、2020年7月には東京オリンピックと、大きなスポーツイベントが日本で開催されることになっていて、国内が明るいムードに包まれます。

国家的なスポーツイベントで流れる音楽といえは、「国歌」です。洋楽が日本に入ってきた明治から歌い継がれてきた「君が代」ですが、正式に国歌となったのは1999年8月9日「国旗及び国歌に関する法律」の成立によるもので、実はまだ最近のこと。世界で最も短い国歌ともいわれ、厳かなメロディを聴くと穏やかな気持ちになりますね。

世界を見渡すと、それぞれの歴史や国民性が反映された多様な国歌があります。ヨーロッパはさまざまな民族が共存し、国が成り立っていますが、自らも民族にルーツを持つ過去の作曲家たちは、民族音楽の特徴を自覚的に芸術表現に盛り込んできました。民族音楽の旋律や舞曲のリズムなどの素材を使って作曲し、民族的色彩が濃い作品になっています。クラシック音楽の作曲家として知られているあの人も、国歌を作曲しています。例えば、100曲以上の交響曲を作ったハイドンは、現在のドイツの国歌となるメロディを1796年に作曲しており、それを主題とした弦楽四重奏曲もあります。

また国によっては、正式な国歌ではありませんが「第2の国歌」として親しまれている曲が存在します。イギリスの『Land of Hope and Glory（希望と栄光の国）』はエルガーによって作曲され、「威風堂々第1番」の中間部の旋律として有名です。毎夏イギリスで開催されるクラシック音楽コンサートイベント「BBCプロムス」の最終夜では必ず演奏され、来場客たちが国旗を振りながら合唱します。フィンランドの作曲家シベリウスは、

帝政ロシアの圧政に苦しんでいたフィンランド大公国で独立運動が起こっていた当時、「フィンランディア」を書き上げました。中間部のコラールは後に「フィンランディア賛歌」と呼ばれ歌詞が付けられ、人々に歌い継がれています。さて、皆さんなら日本の「第2の国歌」として何を思い浮かべるでしょうか…？



(各館つれづれ便り)

INFORMATION FROM EACH FACILITY

》浜北文化センターから

担当：塩崎



浜北文化センターは、開館から38年を迎えます。昭和の香り漂う施設ではありますが、それと同時に地域の方々に永く大事に使われ続けてきた味わいも感じます。そんな浜北文化センターが、この度、施設の一部改修を行いました。小ホールの絨毯が新調され、さらに大会議室の音響設備も新しくなりました。他にも、今までちょっと不便だった会議室のドアが新しくなるなど、大改造というわけではありませんが、利用者の方々にこれからも気持ちよく使っていただけるよう少しずつ生まれ変わっています。

レトロな建物の造りや昭和を感じさせる「銅像」や「オブジェ」があるかと思えば、部分

的に新しい設備になっていたりして、時代を感じるものと新しいものとが混在する不思議な施設。普段利用していただいている方はもちろん、まだ来館したことのない方も昭和、平成、そして新しい元号へと続く文化の香り漂う「浜北文化センター」にぜひ一度足を運んでいただけたらと思います。他の施設とは一味違う、何かを発見できるかも！しませんよ。



》クリエート浜松から

担当：佐伯



年間をとおしてさまざまなイベントが開催されるクリエート浜松。芸術鑑賞・発表の場としてホールやギャラリーへお越しの方は多いと思いますが、実は他にも色々な施設があります。今回はそのうちのひとつ【クッキングルーム】をご紹介します。当館の中でも比較的空き時間が多く、ある意味知る人ぞ知る「穴場」的なこのお部屋。基本的な調理器具や設備がほぼ揃っており、食材を持ち込むだけでお気軽に料理を楽しんでいただけます。利用者様からは「街中にこんなちょうどいい部屋があったとは！」と嬉しいコメントも。講座の開催はもちろん、個人利用もOK。

同好・団らの場としてもびったりです。なかにはここで誕生日パーティーをされた方もいらっしゃいます♪

利用者様の数だけ利用方法があるクリエート。今後も色々な施設やご利用方法を紹介していきますので、皆さんのお気に入りを見つけてくださいね。



》アクトシティ浜松から

担当：中村



アクトの「なるほど！」を探検してみよう④

「アクトシティ浜松」というと、まず思い付くのが、アクトタワー、大ホール、パイプオルガンが優雅な雰囲気を醸し出す中ホールではないでしょうか？皆さん、アクトにはもう1つホールがあります。そう「展示イベントホール」です。

広さは全体で3,500㎡。舞台も固定式の椅子もないホールで、色々なイベントが開催可能。

展示会、就職セミナー、懇親会をはじめ、移動水族館や3,000人規模のライブ、マーチングの練習などが行われています。



3,000人ライブ

お弁当を持ってイベントに出かけよう！

展示イベントホールの屋上には屋外庭園があり、どなたでも自由にご利用いただけます。2年前に植えた桜の木が季節外れの花を咲かせ始めました。まだまだ小さな桜の木ですが、いつの日かお花見ができるくらいになるといいですね。ぜひ、展示イベントホールに遊びに来てください。



H31/1/27現在の桜



太陽の広場

》天竜壬生ホールから

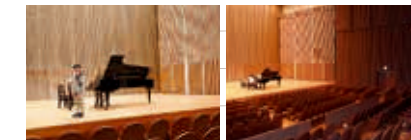
担当：若林



天竜壬生ホールでは、会館事業として「ステージ演奏体験」を行っています。45分間、舞台をひとり占めてスタインウェイのピアノを弾けるというこの企画はとても人気があり、申込み初日に14枠の全てが埋まってしまうことがほとんどです。単独でピアノ演奏をする方、歌を歌う方や楽器演奏の方と一緒に伴奏として利用する方など、使い方は

は様々ですが、老若男女みなさんが喜んで利用していただき、次の開催を楽しみにしてくださっています。

今回は4月29日(月・祝)に「ステージ演奏体験Vol.7」を開催予定です。この体験を通して、壬生ホールの音響の素晴らしさを実感していただき、多くのお客様が利用していただくきっかけとなってくれたら嬉しいです。





Okura
ACT CITY HOTEL
HAMAMATSU

オークラアクティシティホテル浜松

OKURA ACT CITY HOTEL HAMAMATSU



紅茶シフォンケーキ、苺ロールケーキ(4月)

アクトプラザ2F「ホテルオークラベーカリー&カフェ」では、毎日その日に焼き上げるバラエティ豊かなホテルメイドのパンはもちろん、季節のフルーツや食材を使った豊富なスイーツが並び、女性に人気のベーカリーショップです。

今回ご紹介するのは「月替りシフォンケーキ」と「月替りロールケーキ」です。毎月、パティシエ特製のシフォンケーキとロールケーキが登場し、その時季ならではの食材や果物を使ったケーキをお楽しみ頂けます。

4月に販売するのは「紅茶シフォンケーキ」と「苺ロールケーキ」。「紅茶シフォンケーキ」は、丁寧に煮出したアールグレイを茶葉ごと生地混ぜてふんわりと焼き上げ、まわりには紅茶の香りの生クリームを纏わせました。口に運ぶと、香り高いアールグレイが優しく広がり、軽い口当たりのケーキとクリームが溶け合います。苺チョコレートと苺ジャムの酸味のバランスが良い「苺ロール」もおすすめです。

5月以降もそれぞれの季節にあわせてバラエティ豊かなシフォンケーキとロールケーキが登場します。ご家族のだんらんのひと時や、仲間との集まりにもぜひご利用ください。

(3月) 桜シフォンケーキ 1,200円 / 桜ロール 1,400円
(4月) 紅茶シフォンケーキ 1,000円 / 苺ロールケーキ 1,000円
(5月) 天竜抹茶シフォンケーキ 1,000円
天竜抹茶ロールケーキ 1,000円
※シフォンケーキ…直径17cm / ロールケーキ…長さ15cm
※表示価格はすべて税込です。

ホテルオークラ ベーカリー&カフェ

浜松市中区板屋町111-2 アクトプラザ2階
【営業時間】 10:30 ~ 19:00(4月より土日祝は ~ 18:00)
【お問い合わせ】 TEL.053-459-0729(直通)



桜シフォンケーキ、桜ロール (3月)



HOTEL CROWN PALAIS
HAMAMATSU

ホテルクラウンパレス浜松

HOTEL CROWN PALAIS HAMAMATSU



ケーキセット(ガトーフリーズ+紅茶) 1,100円(税込)

JR浜松駅前、ホテルクラウンパレス浜松の1階ロビーラウンジ ラボのケーキセットはいかがでしょう。定番のショートケーキ・季節の素材にこだわったケーキから一点とコーヒーまたは紅茶が付いたお得なセットとなります。甘すぎず後味の良いケーキとコーヒー・紅茶の相性は抜群。パティシエがひとつひとつ丁寧に作り上げたケーキをご堪能ください。

大事な人との待ち合わせや大切な友人とのおしゃべり。そういう大切な時間はホテルラウンジで過ごすのがおすすめです。爽やかな陽光が差し込む明るく開放的なラウンジで、美味しくリラックスしたひとときを過ごしてみたいかがでしょうか？ ぜひ一度、皆様お誘いあわせの上ご来館ください。

お問合せはホテルクラウンパレス浜松 1階「ロビーラウンジ ラボ」
TEL 053(452) 8618 まで。



ホテルクラウンパレス浜松 1階
ロビーラウンジ ラボ

ロビーラウンジ ラボ

浜松市中区板屋町110-17 ホテルクラウンパレス浜松 1階 TEL.053-452-5111(代表)
【営業時間】 月～金 10:00 ~ 19:00 (ラストオーダー 18:30)
土日祝 9:30 ~ 19:00 (ラストオーダー 18:30)

イベントスケジュール

2019.3 ▶ 2019.6

HCFオンラインショップ

http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

- ★システム利用料0円・発券手数料0円
 - ★送料などの実費はかかりますが、その他の手数料は一切なし。
 - ★クレジット決済 / 送料450円(全国一律)
 - ★代金引換 / 送料450円+代引手数料(実費)
 - ★スマートフォン・タブレットからもアクセスできます。
 - ★直接アクトシティチケットセンター窓口で購入(現金のみ)もできます。
- 詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

特別収蔵展

「はまなすの花の人・鷹野つぎ
～愛と悲しみの文学をたどる～」

2.18(月)～6.16(日) 9:00～17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 我が子を何人も亡くし、ふると
浜松に帰ることもなく、決して幸
せな人生とはいえなかった鷹野
つぎ。一人の自立した女性として
母として、鋭く豊かな感性で捉え
た文学作品の数々を紹介。
- 浜松文芸館
TEL.053-453-3933



ゆるやかコンサート特別編
「10周年記念コンサート」

3.2(土) ①10:30～11:20 ②14:00～14:50

- 浜北文化センター 小ホール
- 全席自由:小学生以上500円(税込)
- ※小学生未満でもお席が必要な場合は有料
- 対象:赤ちゃん及びお子様(小学生以下)をお連れの子育
て中の保護者。(おじいちゃん、おばあちゃんを含む。大人
のみも参加可能。)
- ※各公演ごとに内容が異なります。
- 出演:田上知穂(ソプラノ)、石川真弓(メゾ・ソプラノ)
平尾憲嗣(テノール)、山村妙子(ヴァイオリン)
渡邊渚(ピアノ)
- 申込:2月7日(木)13:30～
電話または直接浜北文化センターへ
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151



ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松
スプリングコンサート2019

3.10(日) 14:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:500円
- ジュニアクワイア浜松:音楽監督・指揮 / 浅野武
- ジュニアオーケストラ浜松:客演指揮 / 齊藤一郎
- 文化事業課 053-451-1151



かし座「Wonder Shadow」

3.16(土) 14:00

- 天竜壬生ホール
- 全席自由:一般1,500円
高校生以下500円
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



みぶ遠州の和太鼓2019

3.17(日) 13:00

- 天竜壬生ホール
- 全席自由:一般1,000円
小学生以下500円
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



レクチャーコンサート

「涙のきらめき～17世紀ザルツブルク・祈りの宮廷音楽～」

3.17(日) 18:15

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:一般2,500円
学生(24歳以下)1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:古楽金管アンサンブル“アンジェリコ”
アンドレア・インギッシャーノ(ホルネット)
杉村智大(バロックトランペット)
宮下宣子(サクバット)ほか
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



浜松吹奏楽大会2019

3.23(土) 14:00

■第7回全国中学生交流コンサート

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:一般1,000円
高校生以下入場無料(要整理券)

※未就学児の入場不可

ア オ ひ ※高校生以下整理券はアのみ



3.23(土) 10:00～16:30 ※雨天中止

■プロムナードコンサート

- キラ(ＪＲ浜松駅北口広場)

3.24(日) 10:00

■第31回全日本高等学校選抜吹奏楽大会

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:2,800円
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 053-451-1151



レクチャーコンサート

「ショパン・オン・プレイエル ～時代の音に酔いしれる～」

4.5(金) 19:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:一般2,500円
学生(24歳以下)1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:川口成彦(第1回ショパン国際ピアノコンクール第2位)
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



アクトシティ浜松開館25周年記念
市川海老蔵 古典への誘い

4.11(木) 13:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:一・二等席 完売
三等席 完売

※未就学児の入場不可

- 予定演出:一、笠之段
二、矢の根
三、口上
四、薙(うわなり)

- 静岡新聞社・静岡放送
TEL.054-281-9010(月～金 9～17時)

- 文化事業課

TEL.053-451-1114



アクト・ワンコインコンサート2019
長谷川陽子(チェロ)

4.18(木) 11:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支
払ください。

※満席となった際は、入場をご遠慮
いただく場合がございますので
予めご了承ください。

※未就学児の入場不可

- 曲目:カサド / 親愛なる言葉
ショパン / 序奏と華麗なるパロネーズ ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©塩澤秀樹

アクトシティ浜松開館25周年記念
パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)
エストニア・フェスティバル管弦楽団

4.25(木) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定: S席17,000円
A席14,000円
B席 **完売**
C席 **完売**
学生席2,000円(24歳以下・当日指定)

※未就学児の入場不可

- 曲目:
シベリウス/交響詩「フィンランディア」
ベルト/ベンジャミン・ブリテンへの哀悼歌
プロコフィエフ/
ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 Op.19(ヴァイオリン:五嶋みどり)
チャイコフスキー/交響曲 第5番 ホ短調 Op.64
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ ひ**
- 特別協賛: **Sala** サラグループ



©Ixi Chen



©T.Greenfield-Sanders

レクチャーコンサート
「上方風流寄席囃子～落語と鳴り物の幸せな時間～」

5.4(土) 14:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由: 一般3,000円
学生(24歳以下)1,000円

※未就学児の入場不可

- 出演: 林家染雀
露の眞
林家染八
月亭遊真
はやしや絹代
はやしや京子

- 楽器博物館
TEL.053-451-1128



オルガンミニコンサート No.92

5.9(木) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます。
- オルガン: 坂戸真美
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

ゆるやかコンサート春

5.10(金) 10:30～11:20

- 浜北文化センター 小ホール
- 出演: 立川訓子(チェロ) 山本絵里子(ピアノ)
- 申し込み: 4月19日(金)13:30～
電話または直接浜北文化センターへ
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151



アクト・プレミアム・シリーズ2019
～世界の名演奏家たち～Vol.11
ウラディーミル&ヴォフカ・アシュケナージ
(ピアノ・デュオ)

5.13(月) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定: S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円
学生B席3,000円(24歳以下)

※未就学児の入場不可

- 曲目: シューベルト/幻想曲 へ短調 D.940
ブラームス/ワルツ集 Op.39
ラヴェル/ラ・ヴァルス
ラフマニノフ/組曲 第1番「幻想的絵画」Op.5

- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ ひ**
- 特別協賛: **オリックスグループ**



©Susanne Holm

レクチャーコンサート
「砂漠の街の楽師族
～インド・ラージャスターンの音楽と楽器～」

5.16(木) 19:00

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由: 一般3,000円
学生(24歳以下)1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演: ジャイサルメール・ピーツ(4人編成)
- 楽器博物館
TEL.053-451-1128



舞台「奇跡の人」

5.25(土) 16:00

- 浜北文化センター 大ホール
- 全席指定: S席10,800円
A席9,800円

※未就学児の入場不可

- 出演: 高畑充希
鈴木梨央 ほか
- 静岡朝日テレビ事業部
TEL.054-251-3302
- 浜北文化センター
TEL.053-586-5151

- ア オ ひ**
ローソンチケット
イープラス
セブンチケット等



New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.118
今田 篤(ピアノ)

5.26(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:
(1回券)一般2,500円 学生1,000円(24歳以下)
(年間パスポート(全5回))一般7,500円 学生3,000円
- ※未就学児の入場不可

- 曲目:
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第32番 ハ短調 Op.111 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ**
- 協賛: **幸和ハウジング株式会社**



SUZUKI presents
小林研一郎(指揮)
ハンガリー・ブダペスト交響楽団

5.28(火) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定: S席9,000円 A席7,000円 B席 **完売**
学生席1,000円(24歳以下・当日指定)

※未就学児の入場不可

- 曲目:
ブラームス/ハンガリー舞曲 第1番・第4番
ブラームス/ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 Op.102
(ヴァイオリン&チェロ: シェンデル&アダム・ヤボルカイ)

ドヴォルザーク/交響曲 第9番 ホ短調 Op.95「新世界より」

- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ ひ**
- 特別協賛: **SUZUKI**



©山本倫子



アクトシティ浜松開館25周年記念
Daiwa House PRESENTS
熊川哲也 Kバレエカンパニー
「シンデレラ」

6.4(火) 18:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定: S席15,000円 A席11,000円 B席8,000円
C席6,000円

※5歳以上入場可(要チケット)

- 静岡新聞社・静岡放送 浜松総局 業務部
TEL.053-455-4100(土日祝を除く 9～17時)
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ ひ**
- 特別協賛: 大和ハウス工業株式会社



©Shunko Ogawa

レクチャーコンサート 日本・オーストリア友好150周年記念 「幻の弦楽器“バリトン”」

6.5(水) 19:00

- 浜松市楽器博物館 天空ホール
- 全席自由：一般2,500円 学生(24歳以下)1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演：エステルハーゲン・アンサンブル
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



みぶ絵手紙展～雨もたのしや～

6.16(日)～30(日) 9:00～21:00
(最終日のみ～15:00)

- 浜松市天竜壬生ホール 展示ギャラリー2
- 入場無料
- 浜松市天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



50th ACT CITY Premium Series 西村 悟(テノール)

6.18(火) 11:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由：500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
- ※未就学児の入場不可
- 曲目：ヴェルディ／歌劇「リゴレット」より「女心の歌」
- カルデッソ／カトリ・カトリ
- ブッチーニ／歌劇「トスカ」より「星は光りぬ」 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©Yoshinobu Fukaya(aura)

アクト・プレミアム・シリーズ2019 ～世界の名演奏家たち～Vol.12 ミハイル・プレトニョフ(ピアノ)

6.24(月) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定：S席9,000円
- A席7,000円
- B席5,000円
- 学生B席2,500円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目：
モーツァルト／ピアノ・ソナタ 第4番 変ホ長調 K.282
ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110
モーツァルト／ピアノ・ソナタ 第10番 ハ長調 K.330
ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ 第32番 短調 Op.111
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 特別協賛：オリックスグループ



©Rainer Maillard / DG

アクトシティ浜松友の会
ビバーチェクラブ 会員募集中!!

◎電話、インターネットでチケット予約(お席を選ぶことができます)

特典 ◎一般発売前にチケットの優先販売

◎財団の指定公演は、会員お1人様1枚に限りチケット代10%割引

◎文化情報誌及び公演チラシの郵送 ほか

お問い合わせ先 TEL.053-451-1115 vivace@actcity.jp

インターネットからも友の会web入会できます
(初年度年会費が10%割引!)

◆年会費は一律2,000円(税込)

◆電話予約の場合

①アクトシティチケットセンターで受取＆お支払い

②ご自宅へ宅配 & 受取の際に宅配業者へお支払い
(送料+代引手数料がかかります)

◆HCFオンラインショップ予約の場合

①アクトシティチケットセンターにお越しいただき受取＆お支払い

②ご自宅へ宅配 & 受取の際に宅配業者へお支払い
(送料+代引手数料がかかります)

③ご自宅へ宅配 & クレジットカード決済(送料がかかります)

◆ご予約ごとに受取方法は選べます。

チケット販売場所 アクトシティチケットセンター HCFオンラインショップ <http://www.hcf.or.jp/> チケットぴあ
この情報は2019年2月13日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。

コンサートスケジュール 2019-2020

2019年		
4 APR	11(木)	市川海老蔵 古典への誘い
	18(木)	アクト・ワンコインコンサート 2019 長谷川陽子[チェロ]
	25(木)	バーヴォ・ヤルヴィ[指揮] エストニア・フェスティバル管弦楽団
5 MAY	9(木)	オルガンミニコンサート 坂戸真美
	13(月)	アクト・プレミアム・シリーズ 2019 Vol.11 ウラディーミル&ヴォフカ・アシュケナージ[ピアノ・デュオ]
	26(日)	アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2019 No.118 今田 篤[ピアノ]
6 JUN	28(火)	SUZUKI presents 小林研一郎[指揮] ハンガリー・ブダペスト交響楽団
	4(火)	Daiwa House PRESENTS 熊川哲也 K/Pアレ カンパニー「シンデレラ」
	18(火)	アクト・ワンコインコンサート 2019 西村 悟[テノール]
7 JUL	24(月)	アクト・プレミアム・シリーズ 2019 Vol.12 ミハイル・プレトニョフ[ピアノ]
	4(木)	オルガンミニコンサート 梅干野安未
	18(木)	ブラスト!：ミュージック・オブ・ディズニー 2019
8 AUG	21(日)	アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2019 No.119 浅原由香[オーボエ]
	27(土)・9/1(日)	浜松恐竜ワールド 2019
	28(日)	第14回 浜松いわた信用金庫「夢に追いかぜコンサート in 浜松」
9 SEP	3(土)	歌舞伎プレセミナー 講師：葛西聖司
	8(木)	オルガンミニコンサート 英 貴子
	22(木)	アクト・ワンコインコンサート 2019 宮谷理香[ピアノ]
10 OCT	5(木)	松竹大歌舞伎
	15(日)	アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2019 No.120 古海行子[ピアノ]
	28(土)	アクトシティ浜松開館25周年記念オルガンコンサート 綿村光代[オルガン]・田宮堅二[トランペット]・山岸 博[ホルン]・山城宏樹[トランペット] ほか
11 NOV	30(月)	アクト・プレミアム・シリーズ 2019 Vol.13 エマヌエル・バウ[フルート]&エリック・ル・サージュ[ピアノ]
	30(水)	アクト・ワンコインコンサート 2019 神谷百子[マリンバ]
	27(水)	東儀秀樹×古澤巖×coba コンサートツアー 2019「TFC55 LEVEL6」
12 DEC	1(日)	アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2019 No.121 佐藤晴真[チェロ]
	3(火)	ワレリー・ゲルギエフ[指揮] マリンスキー歌劇場管弦楽団
	9(月)	アクト・プレミアム・シリーズ 2019 Vol.14 シプリアン・カザリス[ピアノ]
2020年		
1 JAN	19(日)	アクト・ニューアーティスト・シリーズ 2019 No.122 葵トリオ[ピアノ三重奏]
	9(日)	静岡交響楽団 第92回定期演奏会(浜松公演)
2 FEB	27(木)	オルガンミニコンサート 中野ひかり
	27(木)	アクト・プレミアム・シリーズ 2019 Vol.15 ネマニャ・ラドクロヴィチ[ヴァイオリン] presents ドゥーブル・サンズ[弦楽合奏+ピアノ]
3 MAR	4(水)	

ブラスト!：ミュージック・オブ・ディズニー 2019

7.18(木)

大ホール 19:00(18:15開場)

トニー賞受賞のブロードウェイ作品
「ブラスト!」の圧倒的なパフォーマンスと子供から大人まで観しやす
い世界で愛される「ディズニー音楽」
が夢の共演。

全席指定 SW11,000 AX9,000 BW7,500
【一般発売】4,13(土) 【友の会発売】3,3(日)
共催/テレビ静岡



アクトシティ浜松開館25周年記念 浜松恐竜ワールド 2019

7.27(土)・9.1(日)

展示イベントホール

福井県立恐竜博物館の登録標本を中
心に恐竜口なども展示。子供たちた
にもわかりやすい入門編としての「恐
竜展」を開催。

※3歳以下無料

【一般発売】5,20(月)

共催/中日新聞東海本社、テレビ静岡、K-mix 特別協賛/セネシイラム東海



2019年度 公文協西コース 松竹大歌舞伎

9.5(木)

大ホール

毎年恒例の松竹大歌舞伎公演

出演者：中村 扇治郎

中村 扇 俊

尾上 松 也 ほか



全席指定 一等¥6,500 二等¥5,500 夜部番見¥2,000(当日指定) 学生¥1,000(当日指定)
【一般発売】6,9(日) 【友の会発売】6,2(日)
特別協賛/360グループ 協力/オークラアクトシティホテル浜松

東儀秀樹×古澤巖×coba コンサートツアー 2019「TFC55 LEVEL6」

11.27(水)

大ホール 19:00(18:15開場)

雅楽師の東儀秀樹、ヴァイ
オリニストの古澤巖、アコーディ
オニストのcobaの3楽師が、
二人ならではの感銘絶頂のワ
クワサウンドを追究し、誰に
も真似できない芸術性豊か
な音楽を奏でる最高級ライブ。



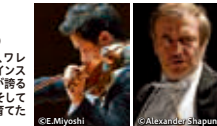
全席指定 SW7,000 AX6,000 BW4,500 学生¥1,000(当日指定)
【一般発売】7,14(日) 【友の会発売】7,7(日)
協力/オークラアクトシティホテル浜松

アクトシティ浜松開館25周年記念 ワレリー・ゲルギエフ[指揮] マリンスキー歌劇場管弦楽団

12.3(火)

大ホール 19:00(18:15開場)

現代の指揮界のカリスマ、ワ
レリー・ゲルギエフ率いるマリ
ンスキー歌劇場管弦楽団と日本が誇る
ヴァイオリニストの五嶋龍、そして
ゲルギエフが手懸に育てて育
った歌手との夢の共演!



Program

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op.35(ヴァイオリン：五嶋龍)
チャイコフスキー：手紙の海—歌劇「エネジュー—オネーギン」(ソプラノ：調整中)
ドビュッシー：交響詩「海」 ほか

全席指定 SW18,000 AX15,000 BW11,000 CW8,000 学生¥2,000(当日指定)
【一般発売】6,9(日) 【友の会発売】6,2(日)

舞台袖

インタビューの中で「フラジョレット」という特殊奏法にふれていたチェリストの長谷川陽子さん。この奏法には
理科で学んだ音の振動数などが関連し、柔らかく高い音を出すことができるそう。一方で「フルートのような音色」
との意味もあり、浜松市楽器博物館に行くと「フラジョレット」という19世紀の縦笛を数点見ることができます。
興味のある方はぜひどうぞ。コンサートの中でこの奏法を聴くことができるのか、今から楽しみです。



アクトシティ浜松(施設のご予約)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1111 FAX.053-451-1123

アクトシティ浜松(事業のご案内)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1114 FAX.053-451-1123

浜松市アクトシティ音楽院

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1150 FAX.053-451-1123



浜松市楽器博物館

〒430-7790
浜松市中区中央3-9-1
TEL.053-451-1128
FAX.053-451-1129



クリエート浜松

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
TEL.053-453-5311
FAX.053-453-5379



浜松文芸館

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
クリエート浜松4・5階
TEL.053-453-3933
FAX.053-453-3933



浜松科学館

〒430-0923
浜松市中区北寺島町256-3
TEL.053-454-0178
FAX.053-454-0184
(改装のため2019.7月まで休館。
別施設にて事業開催中)
3月31日で指定管理終了



浜松市浜北文化センター

〒434-0038
浜松市浜北区貴布祢291-1
TEL.053-586-5151
FAX.053-586-5153



浜松子ども館

〒430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
TEL.053-450-9111
FAX.053-458-0300
3月31日で指定管理終了



浜松市天竜壬生ホール

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣20-2
TEL.053-922-3301
FAX.053-922-3300

発行元／公益財団法人浜松市文化振興財団

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1
TEL 053-451-1131 FAX 053-451-1123
<http://www.hcf.or.jp>

Facebook公式アカウント @HCFofficial

Twitter公式アカウント @HCFofficial

平成31年2月25日発行